

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社
 コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有馬 資明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-24-1111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	29,807	△10.9	△760	—	△730	—	△4,561	—
2019年3月期第2四半期	33,439	△3.1	11	△94.2	908	37.6	460	1.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △7,799百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 1,700百万円 (△7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△107.58	—
2019年3月期第2四半期	10.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	107,828	94,671	79.0
2019年3月期	119,851	106,089	79.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 85,165百万円 2019年3月期 95,778百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	14.00	—	74.00	88.00
2020年3月期	—	14.00			
2020年3月期 (予想)			—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2020年3月期の期末配当は未定です。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△10.6	△900	—	△900	—	△6,800	—	△160.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	42,426,739株	2019年3月期	43,886,739株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	8,147株	2019年3月期	1,467,996株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	42,402,736株	2019年3月期2Q	42,419,381株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減率 (%)
売上高	33,439	29,807	△10.9
営業利益(△損失)	11	△760	—
経常利益(△損失)	908	△730	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益(△損失)	460	△4,561	—
米ドル平均レート	110円/\$	109円/\$	△1円

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、雇用・所得環境は良好な状況ですが、自然災害の影響が懸念されるほか、輸出の低迷を背景に製造業の生産活動が伸び悩み、停滞感の強い景況が続いています。

世界経済は、米国では個人消費の堅調さに支えられた成長が続いていますが、中国においては米中貿易摩擦の影響により景気が減速しており、また英国EU離脱の行方による影響など、全体としては不透明な状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは中期経営計画（2017年度～2019年度）に基づき、中長期的な視点での経営基盤の強化と収益力の向上に努めましたが、市場悪化の影響を受け業績は低迷しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は298億7百万円(前年同期比10.9%減)となりました。このうち海外売上高は177億3百万円(前年同期比15.1%減)となり、国内売上高は121億3百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

収益面では、営業損失は7億6千万円(前年同期は営業利益1千1百万円)となりました。また、経常損失は7億3千万円(前年同期は経常利益9億8百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は、減損損失を計上したことなどにより45億6千1百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億6千万円)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第2四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率 (%)
電子デバイス関連	16,738	14,639	△12.5
生産器材	16,701	15,167	△9.2
合計	33,439	29,807	△10.9

① 電子デバイス関連

(主な製品：蛍光表示管、有機ELディスプレイ、タッチセンサー、複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器等)

<蛍光表示管の売上高の状況>

家電用途は順調でしたが、車載、音響用途ともに低調であったことから、売上げは前年同期を下回りました。

<有機ELディスプレイの売上高の状況>

国内の車載用途は軟調でしたが、海外の映像用途が大幅に増加したことから、売上げは前年同期を上回りました。

<タッチセンサーの売上高の状況>

国内の車載用途は大幅に増加しましたが、構成比の高い海外の車載用途が大幅に減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<複合モジュールの売上高の状況>

主力のPOS用途が海外において大幅に減少したことから、売上げは前年同期を下回りました。

<産業用ラジコン機器の売上高の状況>

農業関連向けやFA向けは好調でしたが、トラッククレーン向けは低調に推移しました。なお、セントラル電子制御株式会社をグループ化したことにより、売上げは前年同期を上回りました。

<ホビー用ラジコン機器の売上高の状況>

北米での販売は持ち直しましたが、空用プロポの最高級機種である「32MZ」の投入が計画から遅れたことなどから、売上げは前年同期を下回りました。

② 生産器材

(主な製品：プレート製品、金型用器材、成形合理化機器)

<国内売上高の状況>

国内市場は、モールドおよびプレス金型用器材の需要が低迷し、成形合理化機器も低調であったことから、売上げは前年同期を下回りました。

<海外売上高の状況>

主力の韓国市場では、自動車向けが好調でしたが、為替による影響を受け売上げは前年同期を下回りました。また、中国市場についても低迷したことから、海外全体の売上げは前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ120億2千2百万円減少し、1,078億2千8百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金や電子記録債務の減少などにより、前連結会計年度末に比べ6億4百万円減少し、131億5千7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ114億1千7百万円減少し、946億7千1百万円となりました。この結果、自己資本比率は79.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月14日に公表しました連結業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日(2019年11月8日)公表の「通期連結業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,867	43,961
受取手形及び売掛金	18,467	15,884
有価証券	1,313	908
商品及び製品	5,399	5,066
仕掛品	3,047	2,946
原材料及び貯蔵品	8,200	7,888
その他	1,793	1,440
貸倒引当金	△424	△402
流動資産合計	84,664	77,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,709	6,680
機械装置及び運搬具(純額)	3,837	2,874
工具、器具及び備品(純額)	393	346
土地	9,579	8,319
リース資産(純額)	24	0
建設仮勘定	152	65
その他	—	376
有形固定資産合計	21,698	18,663
無形固定資産		
のれん	1,116	135
その他	1,066	622
無形固定資産合計	2,183	758
投資その他の資産		
投資有価証券	9,508	8,620
その他	2,405	2,665
貸倒引当金	△608	△573
投資その他の資産合計	11,305	10,711
固定資産合計	35,187	30,133
資産合計	119,851	107,828

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,808	3,275
短期借入金	810	739
電子記録債務	2,020	1,611
未払費用	2,453	2,130
未払法人税等	225	278
賞与引当金	851	886
その他	1,264	1,443
流動負債合計	11,433	10,365
固定負債		
長期借入金	49	44
繰延税金負債	937	905
役員退職慰労引当金	64	69
退職給付に係る負債	1,023	1,089
その他	255	683
固定負債合計	2,329	2,792
負債合計	13,762	13,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,560	21,560
利益剰余金	55,845	45,182
自己株式	△2,736	△15
株主資本合計	97,227	89,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	473
為替換算調整勘定	△3,077	△5,369
退職給付に係る調整累計額	1,013	773
その他の包括利益累計額合計	△1,448	△4,121
非支配株主持分	10,310	9,506
純資産合計	106,089	94,671
負債純資産合計	119,851	107,828

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	33,439	29,807
売上原価	26,729	24,233
売上総利益	6,710	5,573
販売費及び一般管理費	6,698	6,333
営業利益又は営業損失(△)	11	△760
営業外収益		
受取利息	175	207
受取配当金	156	141
為替差益	520	—
その他	123	73
営業外収益合計	976	421
営業外費用		
為替差損	—	316
固定資産解体撤去費用	24	29
補助金返還損	19	—
その他	34	45
営業外費用合計	78	391
経常利益又は経常損失(△)	908	△730
特別利益		
固定資産売却益	36	162
投資有価証券売却益	—	107
子会社清算益	88	—
特別利益合計	125	269
特別損失		
固定資産売却損	10	0
固定資産廃棄損	24	3
投資有価証券評価損	—	233
減損損失	58	3,523
建物解体撤去費用	119	—
特別損失合計	212	3,760
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	821	△4,221
法人税、住民税及び事業税	147	236
法人税等調整額	△2	△64
法人税等合計	145	171
四半期純利益又は四半期純損失(△)	675	△4,392
非支配株主に帰属する四半期純利益	215	169
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	460	△4,561

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	675	△4,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△742	△185
為替換算調整勘定	1,657	△2,986
退職給付に係る調整額	109	△235
その他の包括利益合計	1,024	△3,406
四半期包括利益	1,700	△7,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,279	△7,234
非支配株主に係る四半期包括利益	420	△565

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	821	△4,221
減価償却費	1,678	866
のれん償却額	79	92
減損損失	58	3,523
貸倒引当金の増減額(△は減少)	85	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△165	100
賞与引当金の増減額(△は減少)	70	42
受取利息及び受取配当金	△332	△348
為替差損益(△は益)	△135	179
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	△1	△158
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	126
固定資産解体撤去費用	24	29
補助金返還損益(△は益)	19	—
子会社清算損益(△は益)	△88	—
建物解体撤去費用	119	—
売上債権の増減額(△は増加)	291	1,870
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,049	155
仕入債務の増減額(△は減少)	422	△379
その他	△380	△491
小計	1,516	1,367
利息及び配当金の受取額	325	369
利息の支払額	△1	△10
法人税等の支払額	△438	△31
法人税等の還付額	53	15
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,455	1,710
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△9,259	△8,440
定期預金の払戻による収入	9,066	8,933
有価証券の売却及び償還による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△1,035	△760
有形固定資産の売却による収入	89	345
投資有価証券の取得による支出	△449	△168
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	1,054
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△478	—
貸付けによる支出	△1	△2
貸付金の回収による収入	10	3
その他	△59	△188
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,613	777

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△45	△43
リース債務の返済による支出	△11	△91
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△3,139	△3,138
非支配株主への配当金の支払額	△195	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,392	△3,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	524	△760
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,027	△1,785
現金及び現金同等物の期首残高	37,716	32,854
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,689	31,069

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月21日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式1,460,000株の消却を実施しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が27億2千1百万円、資本剰余金が0百万円、利益剰余金が27億2千1百万円それぞれ減少しています。

(会計方針の変更)

「リース」(IFRS第16号)の適用

第1四半期連結会計期間の期首より、在外連結子会社(米国基準を採用する米国子会社を除く)において、IFRS第16号「リース」を適用しています。この新しい基準により、リースの借手において、原則として全てのリースを連結貸借対照表に資産及び負債として計上しています。なお、この適用による当第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微です。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,738	16,701	33,439	—	33,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	2	△2	—
計	16,741	16,701	33,442	△2	33,439
セグメント利益又は 損失(△)	△556	567	11	△0	11

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子デバイス 関連	生産器材	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,639	15,167	29,807	—	29,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	1	8	△8	—
計	14,646	15,169	29,816	△8	29,807
セグメント損失(△)	△656	△103	△760	△0	△760

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

生産器材セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しています。当該事象によるのれんの減少額は885百万円です。

(固定資産に係る重要な減損損失)

生産器材セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなった当社における事業用資産の帳簿価額を、回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しています。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては2,063百万円です。